

ねんりんピック体験談 将棋部門参加

森田安二

私は小さな町工場を経営しており76才になった今も沢山の仕事の依頼があり忙しく働いております。一方長年にわたり趣味として将棋をこよなく愛好し土曜日午後には2時間ほど近隣の小学生を主に公民館で将棋教室を開き日本将棋連盟桐生みどり支部の仲間と共に将棋の指導を行っております。そんな経緯もあり将棋連盟群馬県連合会の推薦を受け今回4回目となりますが、ねんりんピック長崎大会にも参加のこととなりました。

今までに参加してきた群馬、石川、栃木大会と、今回は最も遠方になり群馬県選手団もだいぶ少ないですがそれでも100名以上の参加者で全国選手団は一人強と聞きました。

そんな訳で各県各選手団各部門の移動や食事なども大へんで石川大会の時には流行のバイキング形式の店だったのですが一列縦隊の為150名の最後の方の人は30分以上も待たされ空きっ腹にこたえたのでは。今回長崎では将棋部門の宿となった所は割烹料理屋さんの女将が旅館の部屋の手配も取りしきっている感じで初期対応がまずく旅館に付いてもなかなか部屋にいれませんでした。入ってみるとすでに広島代表選手3人いて5名定員の和室に襖一つの仕切りで二人入り一人部屋に残る一人が3連泊をする。これで一泊一万円の部屋かと思うと群馬よりだいぶ家賃が高い。しかし食事に関してはさすが割烹旅館とあって4回のねんりんピックでも最高でした。同室の広島選手とも自然と交流が出来て一つの目的は達成できていると思います。もう一方の目的である大会では一日目3人一組の団体戦を4チームでリーグ戦を行い一位のチームだけが次の日の決勝トーナメントに進みますが我がチームは初めて参加の二人が1回戦2回戦勝ちましたが私が不調で3連敗してしまい団体戦決勝には進めませんでした。二日目は個人戦をトーナメント形式で行います。二人は二連勝ずつしてまずまずでしたが大将の私がだめでした。午後の時間は余裕があるので、観光地長崎の眼鏡橋、平和記念公園、長崎夜景見物とそれぞれ路線バスに乗って地元人に尋ねながら目的地へ行き、眼鏡橋の近くに有名な果物屋さんがあると情報を得ていて落ち着いた感じのカップルがいたので道を尋ねたらスマホで調べながらその店まで連れて行ってくれ長崎でのとても幸せな思い出が出来ました。